

〔新撰姓氏錄左京皇別〕大春日朝臣

出自孝昭天皇皇子天帶彥國押人命也、仲臣令家重千金、委糟爲堵。于時大鷦鷯天皇謚仁臨幸其家詔號糟垣臣後改爲春日臣桓武天皇延曆二十年賜大春日朝臣姓

〔神葉の日記〕ならの京春日の里、さほのわたりにしるよし亥て、とし經たる翁侍り○下略

〔大和軍記〕主馬手前の人數も少々相加、以上二千計も打出、大坂より夜越にぐらがり越と申險難を越參候、其道筋郡山迄七里御座候、先手初に郡山を可放火と申から島と申所にて手分を仕、二手に作り、九條口奈良口と申所より押込町口にてつるべ鐵炮を打、時の聲を上、火の手を上申候、其段右之主殿殿被聞付、取物も取あへず、郡山東口高田と申所より東の山中へ落被申候○下略

〔四國御發向并北國御動座事〕秀長柴羽大和國郡山城郭、近國無雙之固也。

〔萬葉集四相聞〕大伴坂上郎女從竹田庄贈賜女子大娘歌二首

〔萬葉集略解四〕神武紀、皇師立誥之處、是謂猛田式大和國十市郡竹田神社あり、

〔東大寺要錄六〕別功德分庄○中略

大和國

添上郡滿登庄田地十五町三百十九步五月二日御齋

山邊郡長屋庄田八町七月十九日納會料○中略

右諸國庄家田地目錄如件○中略

以前被太政官去天平勝寶元年七月十四日符備奉今月十一日勅備去四月一日詔書寺々墾田地評奉者、宜依件數施行、今以狀下符到奉行、

天平勝寶二年三月廿九日

〔萬葉集八秋雜歌〕典鑄正紀朝臣鹿人至衛門大尉大伴宿禰稻公跡見庄作歌一首